

# 銀河レポート401

No.64  
9月号

発行日：令和2年9月1日  
編集&発行：四日市市立博物館  
プラネタリウム  
電話：059-355-2700

そらんぼ四日市

検索

## 9月の星空

星図：ステラナビゲータ9/(株)アストロアーツ

### わし座

南の空に見える夏の大きな三角のついでにはわし座があります。わしの心臓のあたりで輝く明るい星はアルタイル。アルタイルには「飛ぶわし」という意味があります。わし座はある場所めがけて滑空している様子が描かれます。

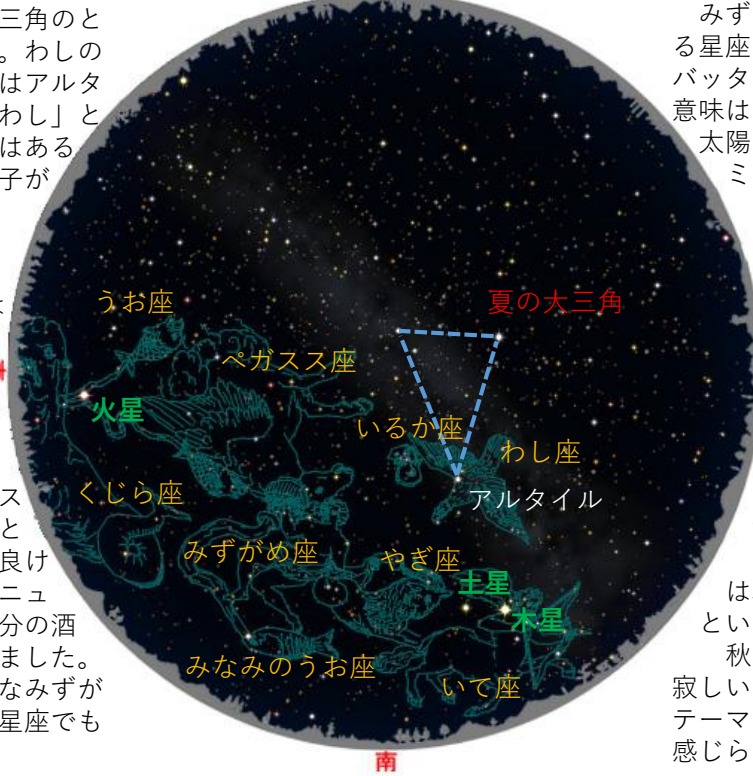
### みずがめ座

わし座の視線の先にいるのはみずがめ座。みずがめ座は、神様のお酒であるネクター酒の入ったかめを持った、美少年ガニュメデスの星座です。

それに対してわし座は、大神ゼウスが変身した姿。ゼウスは美しい女性が大好きな神様として有名ですが、なんと顔が良ければ男性でも良いようで、ガニュメデスを天空へとさらい、自分の酒を注がせる召使にしてみました。

水もしたたるいい男、そんなみずがめ座は2月ごろのお誕生日の星座でもあります。

9月15日21時の星図



### 水にまつわる星座

みずがめ座の周囲には水にまつわる星座が集まっています。トップバッターはいて座のヌンキという星。意味は「海のはじまり」。この星が太陽の近くに見えると、メソポタミア地方では間もなく雨季がやってきたことから、このあたりには水に関係した星座が多く描かれています。

でもやぎ座やペガサス座は関係ないんじゃないの？  
と思う人もいるかもしれませんが、そこでやぎ座をよく見てみると、下半身が魚になっています。これはヤギの姿をした牧神パーンが、魚に変身しようとして失敗した姿です。加えてペガサス座は、その語源となるペゲーが泉という意味を持ちます。

秋の空はあまり明るい星がなく寂しい印象もありますが、一つのテーマを通して星を眺める楽しさを感じられる空でもあります。

## 中秋の名月

今年の10月1日(木)は中秋の名月です。この日は旧暦の8月15日にあたり、満月かそれに近い月が見られます。現代では8月=夏ですが、昔の暦では7月から9月が秋とされました。そのちょうど真ん中にあたるため、中秋と言います。また、中秋の名月のことを十五夜お月さまと呼ぶのは、この旧暦によるものです。

ではなぜ秋の月は特別とされたのかというと、月の高さや天気があります。満月は夏の頃は低く、冬の頃は高くに昇り、ちょうど良い高さになるのは春か秋。しかし、春は春がすみ、秋は秋晴れとも言うように、天気が良いのは秋です。そこで、私たち日本人は秋の月を特に楽しみました。



## ペルセウス座流星群観望会 報告

8月12日(水)に伊坂ダムサイクルパークにてペルセウス座流星群の観望会を実施しました。残念ながら天気には恵まれず、流星を見ることはできませんでしたが、代わりに天文ボランティアによる星空ガイドが活躍しました。今回は、雲間から見える木星や土星、夏の大きな三角の星々を、タブレット端末なども使いながら解説しています。

また、観望会の感染症対策として暗闇で光るブレスレットを使用し、ソーシャルディスタンスを確保していただきました。初めてのことが多く観望会ではありませんでしたが、みなさんが安心して星空を見られるよう、今後も努力して参ります。



## ★★観望会★★

《博物館主催きらら号観望会》

日時：9月26日(土)

時間：18:30～20:00

場所：博物館前市民公園

内容：月と木星、土星を見よう



- ※天候不良時は中止です。
- ※当日受付・参加無料です。
- ※マスク着用、手指消毒、観望会受付票の記入をお願いいたします。

## 9月の月

2日  満月

10日  下弦

17日  新月

24日  上弦

## 編集後記

7月のネオウィズ彗星しかり、8月の流星群しかり、厚い雲にはばまれて楽しむことができない日々が続いています。天気予報では晴れと言われていても、空の8割に雲があれば、観測できないのが天文現象です。晴れの定義を改めて欲しい、なんて無茶なことを思っています。